

平成29年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年5月15日

上場会社名 株式会社マミーマート 上場取引所 東
 コード番号 9823 URL http://www.mammymart.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩崎 裕文
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 小野原 秀次 TEL 048 (654) 2514
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月15日 配当支払開始予定日 平成29年6月19日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第2四半期の連結業績（平成28年10月1日～平成29年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第2四半期	51,848	3.0	1,873	39.6	2,075	32.8	1,369	66.0
28年9月期第2四半期	50,315	4.5	1,341	△4.9	1,563	△4.2	824	△17.0

(注) 包括利益 29年9月期第2四半期 1,450百万円 (97.2%) 28年9月期第2四半期 735百万円 (△28.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第2四半期	126.82	—
28年9月期第2四半期	76.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年9月期第2四半期	55,436	24,662	44.5	2,283.49
28年9月期	50,348	23,320	46.3	2,159.33

(参考) 自己資本 29年9月期第2四半期 24,650百万円 28年9月期 23,310百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	10.00	—	10.00	20.00
29年9月期	—	10.00			
29年9月期(予想)			—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年9月期の連結業績予想（平成28年10月1日～平成29年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	103,000	2.0	2,800	10.0	3,150	1.6	1,750	0.8	162.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年9月期2Q	10,796,793株	28年9月期	10,796,793株
② 期末自己株式数	29年9月期2Q	1,778株	28年9月期	1,758株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年9月期2Q	10,795,029株	28年9月期2Q	10,795,094株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国経済の緩やかな景気回復基調に合わせ、我が国経済においても企業の設備投資拡大や雇用情勢の改善などもみられるものの、米国新政権の外交政策や英国のEU離脱を始めとする欧米の地政学的不安定要因が続いており、為替動向の不安定化や原油価格の上昇など企業業績の先行き不透明感もあるなか、足元では緩やかな回復の兆しを示しております。一方で個人消費においては、雇用・所得改善が続いているものの、可処分所得の伸び悩み、社会保障制度の見直し等により、個人消費の回復に力強さは見られませんでした。

小売業界におきましては、将来不安による消費停滞懸念や消費者の根強い節約志向、社会保険料や最低賃金の上昇と人手不足を背景とした人件費の増加、多様化する消費者のライフスタイルに対応する業態・業種を超えた競合の出店攻勢や販売促進の熾烈化など、経営環境はますます厳しくなっております。

このような情勢の中、当社グループ(当社及び連結子会社)は、競争に打ち勝ち、多様なお客様のニーズ・ウォンツにお応えするため、「Back to Basics!」(基本に立ち返ろう!)をスローガンに、「個店主義」「商品開発」「時間帯MD確立」の3項目を重点取組項目として、店舗運営力を高めてまいりました。

営業面におきましては、名物商品の育成、オリジナル商品の開発、鮮度・味の向上を目的として生鮮部門の産地開拓、輸入商品・地域特産品の発掘をおこなってまいりました。

また、「Enjoy Life!」を深耕させ、食の力を芽吹かせる品揃えとサービスで健やかな毎日の食生活提案を推し進めてまいりました。特に商品開発においては、昨今の中食需要に対して、毎日食べても美味しく健康になることを意識した商品作りをしてまいりました。

このような取り組みの結果、当社グループ開発商品の「五味十彩弁当」「マンゴーチャック PIZZA」は、一般社団法人新日本スーパーマーケット協会が主催する「お弁当・お惣菜大賞2017」において、全国各社約5万点のエントリー、総受賞数184商品の中から最優秀賞を受賞したほか、優秀賞2品、入選5品と、合計9商品が受賞しました。また、同主催「第9回 ベスト店長大賞」の既存店部門において、生鮮市場TOP川越店の店長が受賞しました。

設備投資としましては、㈱マミーマートにおいて、平成29年2月に神明町店(埼玉県川越市)を新規開店いたしました。店舗の改装につきましては、飯能武蔵丘店(埼玉県飯能市)、生鮮市場TOP川越店(埼玉県川越市)において実施いたしました。したがって、当連結会計年度末の店舗数は、温浴事業・葬祭事業を含め73店舗となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結営業成績は、売上高51,848百万円(前年同四半期比3.0%増)、営業利益1,873百万円(同39.6%増)、経常利益2,075百万円(同32.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,369百万円(同66.0%増)となりました。

セグメント別の営業の状況は以下のとおりです。

[スーパーマーケット事業]

当第2四半期連結累計期間は、売上高51,600百万円(前年同四半期比3.3%増)、営業利益1,855百万円(同41.3%増)となりました。

[その他の事業]

売上高247百万円(前年同四半期比34.2%減)、営業利益17百万円(同37.7%減)となりました。

その他の事業の減収減益は、平成28年6月にさいたま市見沼区で営業しておりました「むさしの湯」を閉店したことによるものであります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より5,088百万円増加し55,436百万円となりました。これは主に、新規出店用地の取得によるものであります。

負債は、前連結会計年度末より3,745百万円増加し30,774百万円となりました。これは主に、長期借入金の増加によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末より1,342百万円増加し24,662百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は2,154百万円（前連結会計年度末比263百万円の増加）となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動により獲得した資金は2,402百万円（前年同四半期は1,479百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益及び減価償却費の計上によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果支出した資金は5,600百万円（前年同四半期は6,482百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動により得られた資金は3,461百万円（前年同四半期は4,282百万円の収入）となりました。これは主に、借入金の増加によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年11月14日に公表いたしました「平成28年9月期 決算短信」に記載の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,890	2,154
売掛金	780	863
商品	2,540	2,757
貯蔵品	14	16
繰延税金資産	322	322
その他	1,444	1,306
流動資産合計	6,993	7,420
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,546	11,170
機械装置及び運搬具(純額)	230	222
土地	15,560	20,904
リース資産(純額)	1,791	1,711
建設仮勘定	1,700	1,502
その他(純額)	1,574	1,510
有形固定資産合計	32,402	37,022
無形固定資産	161	155
投資その他の資産		
投資有価証券	249	321
長期貸付金	296	299
差入保証金	7,718	7,679
賃貸不動産(純額)	371	370
繰延税金資産	1,398	1,394
その他	755	772
投資その他の資産合計	10,790	10,838
固定資産合計	43,354	48,016
資産合計	50,348	55,436

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,436	5,743
短期借入金	2,895	4,450
1年内返済予定の長期借入金	2,573	3,193
リース債務	154	154
未払費用	1,989	1,980
未払法人税等	544	793
賞与引当金	412	404
資産除去債務	39	30
その他	660	1,003
流動負債合計	14,705	17,756
固定負債		
長期借入金	6,299	7,771
リース債務	1,653	1,575
長期預り保証金	1,697	1,697
転貸損失引当金	132	113
役員退職慰労引当金	925	244
退職給付に係る負債	1,115	1,146
資産除去債務	488	461
その他	9	7
固定負債合計	12,322	13,018
負債合計	27,028	30,774
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,660	2,660
資本剰余金	2,861	2,861
利益剰余金	17,904	19,165
自己株式	△2	△2
株主資本合計	23,424	24,685
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9	76
退職給付に係る調整累計額	△122	△111
その他の包括利益累計額合計	△113	△34
非支配株主持分	10	12
純資産合計	23,320	24,662
負債純資産合計	50,348	55,436

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
売上高	50,315	51,848
売上原価	37,144	38,146
売上総利益	13,171	13,701
営業収入	656	686
営業総利益	13,827	14,388
販売費及び一般管理費	12,485	12,514
営業利益	1,341	1,873
営業外収益		
受取利息	30	28
受取配当金	3	3
不動産賃貸料	79	102
受取手数料	98	102
その他	95	85
営業外収益合計	307	322
営業外費用		
支払利息	20	22
不動産賃貸費用	64	88
その他	1	9
営業外費用合計	85	120
経常利益	1,563	2,075
特別利益		
役員退職慰労引当金戻入額	3	—
資産除去債務戻入益	14	—
特別利益合計	18	—
特別損失		
固定資産除却損	15	4
減損損失	100	—
転貸損失引当金繰入額	161	—
特別損失合計	276	4
税金等調整前四半期純利益	1,304	2,070
法人税等	475	699
四半期純利益	829	1,370
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	824	1,369

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年3月31日)
四半期純利益	829	1,370
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△100	67
退職給付に係る調整額	6	11
その他の包括利益合計	△94	79
四半期包括利益	735	1,450
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	730	1,448
非支配株主に係る四半期包括利益	4	1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,304	2,070
減価償却費	968	901
減損損失	100	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	8	△7
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△31	△681
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	45	47
転貸損失引当金の増減額 (△は減少)	153	△19
受取利息及び受取配当金	△33	△32
支払利息	20	22
固定資産除却損	15	4
資産除去債務戻入益	△14	—
売上債権の増減額 (△は増加)	102	△82
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△182	△219
未収入金の増減額 (△は増加)	△35	△10
仕入債務の増減額 (△は減少)	173	307
未払費用の増減額 (△は減少)	11	△9
その他	△161	585
小計	2,445	2,878
利息及び配当金の受取額	5	5
利息の支払額	△20	△22
法人税等の支払額	△952	△481
法人税等の還付額	0	22
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,479	2,402
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,147	△5,499
無形固定資産の取得による支出	△44	△13
貸付けによる支出	△100	△20
貸付金の回収による収入	16	15
差入保証金の差入による支出	△449	△543
差入保証金の回収による収入	292	521
保険積立金の積立による支出	△37	△31
資産除去債務の履行による支出	△7	△39
その他	△4	9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,482	△5,600
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,767	1,555
長期借入れによる収入	2,500	3,500
長期借入金の返済による支出	△800	△1,408
リース債務の返済による支出	△76	△76
配当金の支払額	△107	△107
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,282	3,461
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△720	263
現金及び現金同等物の期首残高	2,407	1,890
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,686	2,154

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成28年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	スーパーマー ケット事業				
売上高					
外部顧客への売上高	49,946	369	50,315	—	50,315
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	7	7	△7	—
計	49,946	376	50,323	△7	50,315
セグメント利益	1,313	28	1,341	—	1,341

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、温浴事業と葬祭事業であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成29年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	スーパーマー ケット事業				
売上高					
外部顧客への売上高	51,600	247	51,848	—	51,848
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	0	0	△0	—
計	51,600	247	51,848	△0	51,848
セグメント利益	1,855	17	1,873	—	1,873

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、温浴事業と葬祭事業であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。